## 7 本時のねらい

増加の場面でもたし算で表せることが分かり、「入れる、くる、もらう」などの事象についてブロックで操作しながらたし算の式で答えを求めることができる。

## 7 本時のねらい

減る前の数を求める逆思考の問題で,減った分をもどせば元の数になることに気づきそのブロック操作からたし算で求めることができる。

予想される児童の反応と援助	1 年生の学習活動(留意点)	過程	わたり	過程	2 年生の学習活動(留意点)	予想さ	れる児童の反応と援助
	<ol> <li>本時の問題を提示する。</li> <li>金魚が5匹います。2匹増えると何匹になるでしょう</li> <li>数図ブロックをお話をしながら動かす。</li> <li>本時の課題を考える。</li> <li>話のとおりにブロックを動かして式を作るう。</li> <li>・最初5匹いて2匹増えたから5+2=7 7ひき</li> <li>たし算の練習問題を行う。ケーキが6個箱にあります。4個入れると何個になるでしょう。6+4=10 10こ子どもが3人あそんでいます。6人来ると何人になるでしょう。3+6=9 9人</li> <li>答えあわせを行う。</li> </ol>	考える		つかむ 考える	<ol> <li>練習問題を行う。</li> <li>本時の問題を提示する。</li> <li>子どもが遊んでいました。そのうち6人が帰ったので8人になりました。</li> <li>・提示された絵資料を見て,場面を理解する。(はじめいた人数を求める問題であることを押さえる)</li> <li>本時の課題を考える。</li> <li>お話にあうようにブロックなどを動かして答えを求めよう。</li> <li>個人追求をする。</li> <li>ア,「はじめは6人多かったからもどすと」</li> </ol>		
	増えるときもたし算で求めればよい。  5 たし算の式から答えを求める練習をする。 ・式を書く (ブロック) 答えをかく  6 練習の答え合わせをする。	深める まとめる		深める まとめる	<ul> <li>イ、「いまより増えるから」</li> <li>ウ、ブロック操作のみ</li> </ul> 5 考えを交流する。 (ブロックを隙間なくならべるとよいことに気づかせたい) 6 練習問題を行う。 ・ブロックを操作しながら解かせる。  7 本時のまとめをする。 はじめの数を求めるにはブロックをもどして考えればよい。		